

平成28年度農高・農大就農促進対策事業(農高就農促進対策助成)

事業主体名 鹿児島県立德之島高等学校

1 目的

本校の生徒は、農業体験の機会はあるものの、先進的な農家の取組を知る機会は少ない。そこで、生産現場や流通過程など農業経営の実態を研修することにより、職業としての農業を見直す機会とする。

また、このことを通して、営農志向を高めるとともに、将来の徳之島の農業を担う経営者となるよう人材の育成を行う。

2 実施状況

(1) 農業関連事業所視察研修の実施

生物生産系列の生徒が、徳之島食肉センター及び徳之島町TMRセンターの視察を行った。それぞれの施設で、豚のと殺や枝肉へ解体される様子、配合飼料の製造過程を見ることにより多角的に徳之島の畜産業に関わっている産業について理解することができた。

(2) 農業大学校の体験入学（緑の学園）

農業大学校肉用牛科への進学を希望する3年生6名が、畜産コースの体験に参加した。体高測定や人工哺乳などの実習や寮生活について体験することで農業大学校への進学意欲を高めた。



食肉センター視察



農大緑の学園（畜産コース）

(3) 熊本視察研修

本校では、今年度から知的財産学習の一環として徳之島産の黒糖をPRするためのパッケージ作製を行ってきた。このパッケージを用いた黒糖を熊本地震の被災地である益城町で配布するボランティア活動を行った。また、6次産業化を進めている農家視察を行い、今後徳之島の農業をリードしようという意欲を高められた。

3 今後の課題、取組

これまで視察研修においては、生徒の移動も伴うため島内に研修先が限られてきたが、今年度は県外への視察も実現でき、意欲ある生徒にとっては効果的であったと思われる。

また、進路においても農業大学校を希望した6名中5名が受験し全員が合格できた。

今後も、将来の営農意欲を高めるため工夫ある取組を進め、後継者育成及び確保につなげたい。



益城町仮設住宅での黒糖配布